

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

| | |
|-------|-----------------------|
| 制作団体名 | 有限会社 PAC 汎マイム工房 |
| 公演団体名 | パントマイム&クラウン「劇団汎マイム工房」 |

内容

パントマイムや道化師の歴史や特徴の解説。短編パントマイム作品「老人と風船」を見てもらいます。

表現したくなる身体の発見。⇒参加者で埋める空間。地面や空を身体で埋めてゆきます。

身体の情報⇒つま先歩き、踵歩き、べた足歩きで気持ちが変わります。からだの色々な部分を動かす、意識することで身体には、様々な言葉のある事を経験します。

物真似⇒パントマイムとは、いろいろな物まねという意味です。即興でいくつかの物になってみます。それぞれの共通点と、各人の個別な特徴を観察しあいます。

マイムテクニック⇒重さの表現は実際に重い身体を作り出すことです。壁のマイムではもう一度壁に触れ、壁を観察することで肉体で表現することができます。

マイム創造⇒木や花、つまり植物の種から成長、枯れるまでを演じてみます。何組かに分けてお互いに鑑賞しあいます。

ジャグリング⇒身近にある生活用品で遊んだのが始まりです。物との素朴な関係と、物を観察することで生み出された見事なテクニック。ボールジャグリングの3個技(カスケード)を体験してもらいます。

感想発表。

タイムスケジュール（標準）

午前の部 9:30～12:00

午後の部 13:30～16:00

派遣者数

2人

学校における事前指導

体操着、体操靴、タオル、水筒の用意のお願い。

運動会に使う玉入れの球の用意。または、お手玉の用意(作り方は事前にお知らせします)

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

| | |
|-------|-----------------------|
| 制作団体名 | 有限会社 PAC 汎マイム工房 |
| 公演団体名 | パントマイム&クラウン「劇団汎マイム工房」 |

演目

あらい汎ソロマイム「汎・マイム・一人旅」

派遣者数

出演者1人 マイム発表会指導者1人
スタッフ 3人

タイムスケジュール（標準）

到着 8:00 仕込み 8:00~11:00 生徒舞台稽古 11:00~12:00
食事、メイキャップ、着替え 12:00~13:00 生徒入場 12:45
開演 13:00 終演 14:30 片付け、メイク落とし 14:00~17:00

実施校への協力依頼人員

会場が2階の場合搬入、搬出のお手伝い。4人位。

演目解説

- ① クラウンの登場：山高帽に茶色のボストンバッグ。旅の道化師「あらい汎。」ボストンバッグが突然動かなくなり、帽子が勝手に動き出します。中央に座り込む汎。目の前に見えない幕。パントマイム劇場の始まりです。
- ② 光との戯れ。
- ③ 御挨拶。
- ④ マイムドラマ「風船」子供からもらった風船で老人が思い出の旅に出ます。
- ⑤ マイム教室
- ⑥ マイム詩集 北原白秋作「薔薇」
- ⑦ マイム発表会 壁 植物 皆でやる「マスクマイム」
- ⑧ 道化師の話
- ⑨ マイム「道化師の綱渡り。」
- ⑩ ジャグリング大会
- ⑪ マイム詩集「雨二モマケズ 宮澤賢治」

フィナーレ

道化師は、何処にでもいるキャラクターです。どこかで会った事のあるキャラクターです。

つまり、特別な設定や、役柄ではなく今ここで起こる、ここにいる人間のドラマを観客と共有することになります。クラウンは、子どもの心に棲んでいるキャラクターであり、自分の仲間の事として体験し自己と同一の発想として鑑賞してもらえます。また、言葉無き行為故に、自らの言葉で解釈することとなり、コミュニケーション能力の向上に役立ちます。登場人物が操る高度なマイムテクニックを目にし、人の能力の可能性、即ち自分の中にもある可能性として観て頂けると確信しています。

各作品の合間に、パントマイムやクラウンの語源や歴史、海外、国内を旅して出会った人々の話、を交え作品の出来た経緯を紹介します

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- 1 公演前、の体育館を劇場にする準備。体育館と劇場の違いを説明しながら舞台と、客席を作ってゆきます。舞台袖の整備。舞台用語と共に、舞台の使い方が、児童心理学を基本に考えられている事を説明してゆきます。
舞台の作り方を知りながら、学校、教室など、身の回りの環境を考える一助にと考えております。
- 2 見えて不思議なマイムテクニック。無いのに見えるマイムテクニックを発表します。
壁のマイム。簡単ではないけれど、身体で具体化できる喜びを感じてほしいです。
- 3 創作コーナー。植物(木、花)の種から成長、そして寿命で枯れ、種に戻るまでを発表します。
最初は、一人ずつのソロマイム。次は、5~6 人のグループでのアンサンブルマイムの発表。
グループによる発想の違い、取組みの違いを創造し、鑑賞します。
- 4 客席に座ったままでもできるマスクマイムを全員でやってみます。笑い顔と、泣き顔をマスクにして、つけたり外したりのマスクマイム。楽しい遊びが創造の基本です。
- 5 ボールジャグリング大会を行ないます。3 個でやるカスケードが目標ですが、1 個の基本が大

事なる事を説明。1 個ボール、2 個ボール、3 個ボールと進み、優勝者には、劇団から夢のプレゼント。積み重ねが大切です。

児童生徒とのふれあい

- ① 鑑賞だけではなく、パントマイムやクラウンの歴史、あらい汎の海外での体験をお話ししながら進行します。
- ② パントマイム教室では、客席の生徒に参加してもらい、体験していただきます。全員でできるマスクマイムを一緒にやります。
- ③ マイム発表会を皆で演じ、鑑賞します。
- ④ ジャグリング大会で、競い合います。

